

# 杉山ゆきお後援会だより

第 19 号

http://fussa-net.gloomy.jp/

平成25年1月28日 発行編集者：上村 喬



杉山行男議員

## 福生市議会報告

平成24年度第4回定例議会(12月議会)は、12月4日(21日)の日程で開催され、各議員の市政に関する一般質問、各委員会の審査報告などを議論しました。杉山議員は、コラムの質問項目を通告し福生市の考えを質問しました。杉山議員の質問趣旨、それに対する福生市の回答について詳しく報告します。

### 公共施設照明、街路灯等のLED化について

杉山 本質問項目は正和会の要望事項の一つとして要望しているものである。現在、CO<sub>2</sub>削減など恒常的な節電の取り組みがなされている。平成24年秋より東京電力の電気使用量が値上げになり、市は補正を組んで対応した。公共施設の照明や街路灯、防犯灯は消費電力量が大きい蛍光灯や水銀灯である。これらをLED化することで、電力消費量は蛍光灯の半分、水銀灯の1/4と、節電効果が大きく且つ長寿命である。税収増

が厳しい中、公共施設照明のLED化は電気料金の削減に必要な施策と考える。LED化の取り組み状況と今後の方針について福生市の考えを聞きたい。



一般質問する杉山議員

市長 現在、公共施設照明のうち公園内照明はLED化されているものはない。市道の街路灯は117基がLEDで、街路灯全体の3.3%である。平成21年度の国庫補助金を活用して柳通り、加美立体通りの水銀灯51基

### 杉山議員が通告した一般質問項目

- 1 公共施設照明・街路灯等のLED化について
  - (1) 蛍光灯、水銀灯などのLED化の状況について
- 2 多摩川の河床対策等について
  - (1) 河床のしゅんせつ等について
  - (2) 昭和堰を可動堰にできないか
- 3 清潔で美しいまちづくりの推進について
  - (1) 条例に基づく事業委託の現状と今後の推進について
- 4 教育センターについて
  - (1) そよ風教室及び教職員研究・研修センター事業について



杉山議員の質問に答える市長

域の防犯対策にもなっていることから、要望があった地域と協議し、LED灯を随時設置している。平成24年度においてはLED灯を41基設置した。その内訳は既設灯部取替えによるLED化11基、LED灯新設30基で、その内21基は永田橋横断道に設置した。杉山議員ご指摘のとおり、LED化によって蛍光灯の半分、水銀灯の1/4に電力消費量が減り、省エネ化が図られる。電気料金は電力消費量に応じて課金されるので、ランニングコストの削減も期待できるので、今後も計画的に取り組みたい。

## 福生市の保育園

「すみれ保育園」が完成し4月から受け入れが始まります。牛浜の「認定こども園」は「認可こども園」となり定員も60名になります。4月からの定員は、ゼロ歳児110名(20増)、1歳児159名(19増)、2歳児208名(20増)、3歳児249名、4・5歳児558名になります。

# 多摩川の河床対策について

杉山 本項目も正和会の要望事項として提出してある事項である。南田園地区では4つの町会・自治会が毎年、合同で「水防防災訓練」を行っている。この地域はわが市で一番水害が心配される場所であり、皆さんが共通の認識をもつて真剣に取り組んできている。集中豪雨や台風で多摩川の水量が増えたとき、水害の心配を和らげたり取り除くことは行政の責務でもある。多摩川の河床を低くしてほしいとの要望は以前からあり、南公園の改修時に少し浚渫がなされた。現在、南田園地先の護岸工事も行われている。ついでには、護岸工事の状況と、多摩川の河床を低くする浚渫等の計画はあるのか伺いたい。

市長 多摩川の河床の浚渫等については、多摩川沿いの17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて、毎年、

国に要望している。私自身も国土交通省本省等に赴き要望している。要望書では全国屈指の都市河川である多摩川における治水・洪水対策の重要性を訴え、堰の改築や土砂の掘削等、洪水時の安全な流れの確保を強く要望している。要望先の多摩川を管理する国土交通省京浜河川事務所では、平成24年度の主な工事として、福生市側の堤防の安全性の向上を図るため、流れが強く当たる部分の南田園地先の護岸工事および柳山公園地先の護岸工事を行う計画である。

また、自然再生の取り組みとして睦橋の上下流において、多摩川本来の姿である玉石混じりの河原を復元するために、流れの障害となっていた樹木の伐採と7万立方mの土砂を除去して、昭和堰の下流部に敷きならす工事を行うとのことである。この工事は自然再生を目的としたものであるが、土砂の除去で結果的

には河床が少し下がるので、南公園の冠水被害の軽減に寄与するものと期待している。

## 護岸工事は3月の桜祭りまでに完了するのか？

杉山 4点ほど再質問する。

南田園地先の護岸工事は3月の桜祭りまでに完了するのか？ 睦橋上下流の土砂を除去して河床はどれほど低くなるのか？ その工事日程は？ 睦橋近くの釣りの穴場になっている水の溜まり場は樹木伐採でどうなるのか？

都市建設部長 護岸工事は、

南田園地先、柳山公園地先とも3月下旬までの工期である。桜祭りの開催と重なることも考えられるので、京浜河川工事事務所には桜祭りに支障が出ないように要請している。睦橋周辺の樹木の伐採と土砂の掘削で、今、樹木の生えているところにも洪水時には水が流れるので、平均的には1m程度下がる。

樹木伐採、土砂の搬出は3月下旬に完了する。釣りの穴場になっている水の溜まり場は自然に出来たもので、今回の工事範囲外の場所であり、工事の影響を受けずに、そのまま残ると聞いている。京浜河川事務所では「多摩川本来の姿で釣りを楽しんでいただけよう必要な管理を行っていく」とのことである。

## 昭和用水堰を可動堰にできないか？ 現在の状況は？

杉山 昭和堰の上流が福生市であり、浚渫してもいずれ、砂が溜まって河床が高くなる状況に変わりはない。昭和堰の可動堰化について以前にも質問しているが、現在、どのような状況にあるか。

市長 本件の要望については平成20年に福生市から京浜河川事務所長にお願いしている。その後、台風で南公園が冠水した後は頻度を多くして京浜河川工事事務所にアウト向き所長に要望している。

国土交通省の多摩川水系河川整備計画には昭和堰も対策を講じる計画があるが、治水効果や上下流のバランスを総合的に勘案し、下流側から改修を行うとのこと、川崎市の二ヶ領上河原堰の可動堰化が完了したので、次の府中市の大丸用水堰の可動堰化は検討中とのことである。昭和堰は、大丸用水堰の対策後に行うとのことだが、早期に昭和堰を可動堰化するよう、これからも要望していきたい。

## 昭和堰の可動堰化の見通しは？

杉山 下流の堰から可動堰化することと、数年後には昭和堰の可動堰化も見えてきた気がするが、この辺の見通しを伺いたい。

都市建設部長 二ヶ領上河原堰が完了したばかりであり、その工事の成果、治水効果の検証を行っている段階である。大丸用水堰は、その検証を踏まえて全体計画を作成することと、着工年度や

完了年度は未定である。見込みとしては大丸堰の計画策定に3年、工事に2年以上必要とのことである。したがって、その後の昭和堰はさらに先になると思われるので、それまでは昭和堰上流部の土砂掘削による河床を低くする事業の推進を強く要望していく。

## 清潔で美しいまちづくりの推進について

杉山 平成23年7月から「福生市清潔で美しいまちづくり条例」が施行されている。現在、推進委員4人が活動しているが、その取組み状況と事業内容、およびその成果、ごみのポイ捨て調査の結果と分析結果、今後の取り組みについて伺いたい。

市長 条例第3条各項の規定にもとづき、ポイ捨て等の防止、および路上喫煙等の規制のため「福生市美しい街づくりマナーアップ指導員」4名を任命し、市内を巡回し、条

## 福生市清潔で明るいまちづくり条例

(目的)

第1条 この条例は、市内におけるポイ捨て及び犬のふんの放置を防止し、並びに路上喫煙及び歩行喫煙を規制することにより、清潔で美しいまちづくりを推進し、もって市民の快適な生活環境を確保することを目的とする。

(ポイ捨ての禁止)

第8条 何人も、ポイ捨てをしてはならない。

マナーアップ指導員が1年間に収集したポイ捨てゴミの量(福生市環境課調べ)

吸い殻: 141500本  
 空き缶: 7204本  
 ペットボトル: 4928本  
 燃やせるゴミ: 70142点  
 燃やせないゴミ: 70670点  
 犬の糞: 513個



収集量から判断すれば、指導員による条例周知の取り組みは一定の成果が上がっていると考えられるが、しかし、未だに多くのポイ捨てゴミがあることから、平成24年度中に、条例に基づき「清潔で美しいま

例の周知と意識の啓発を図っている。具体的には、週5日午前7時〜12時まで駅周辺と公園を巡回し、吸い殻等ポイ捨てされたゴミの収集、および喫煙マナーに関するイベント等に参加し、条例の周知活動をしている。マナーアップ指導員が収集したポイ捨てゴミの量は膨大であるが、たばこの吸い殻を指導員一人一日あたりの収集本数で比較すると、平成23年度は一人一日あたり13本に対し、平成24年度は501本と減っている。ゴミの

ちづくり重点区域」の指定、平成25年度には「路上禁煙区域」の指定を検討しながら、清潔で美しいまちづくりを推進してまいりたい。

杉山 平成24年度中に指定する「重点区域」は具体的にどこを検討しているのか。

生活環境部長 ポイ捨てゴミは圧倒的に煙草の吸殻が多く、特に、JR福生駅を筆頭として駅周辺の公共用地で多いことから、これらの区域を重点区域として指定したいと考えている。具体的には福生駅、牛浜駅、熊川駅の周辺および拝島駅北口周辺である。

# マナーアップ指導員も「挨拶運動」に参加を！

杉山 マナーアップ指導員が朝7時から大変なご苦労で啓発活動をしていることを評価した上で、さらに町会・自治会が推進している「挨拶運動」にも是非参加していただきたい。いま、多くの福生市民が早朝の清掃活動などボランティア活動を実践している。そのボランティア市民から「マナーアップ指導員に「おはよう」と朝の挨拶の声をかけたが、指導員からは何の反応もなく、無視されたとのこと。是非、指導員も「あいさつ運動」に参加するように、理事者側からご指導いただけないか。

生活環境部長 社会生活において挨拶は全ての始まりである。清潔で美しいまちづくりの周知・啓発活動も挨拶から始まると考えている。早速、指導員には「挨拶には挨拶を」は啓発活動の基本中の基本であることを周知する。



日光橋公園の遊具が新しくなりました。12月22日から使用が開始されています。公園としての整備は、樹木の伐採などが残っており、武蔵野橋の工事完成と併せてお願いをしているところです。(杉山)

## 「そよ風教室」について

杉山 田園に設置した教育センターでの教職員の研究・研修事業については、関心があっても内容がよく分からない。「そよ風教室」と「教職員の研究・研修」の具体的な事業内容を知りたい。

教育長 「そよ風教室」は子供応援館2階に設置した「学校適応支援室」の通称であり、心理的・情緒的な原因により不登校傾向にある児童・生徒

に対して、適切な相談、指導、助言を行い、学校復帰を目指す施設である。平成24年11月末日現在で、小学生4名、中学生19名が通級しており、今年度当初と比較して、小学生が2名、中学生2名増である。児童・生徒に個別に設定した時間割で生活リズムの確立を図りながら、個別学習に取り組んでいる。年々、そよ風教室と在籍学校との連携も深まり、児童・生徒の様子について各学校の校長や担任とそよ風教室職員との情報交換を継続的に行っている。また、中学校の定期テストが事前にそよ風教室に届けられ、中学校で採点して生徒に返却する取り組みも行っている。こうした中で、在籍学校に復帰できるようにになった生徒が5名いる。また、平成23年度に中学3年生6人全員が高校に進学しており、そよ風教室の継続的な取り組みが徐々に成果を上げていと捉えている。

お断り: 杉山議員の質問は「若手教員の指導力強化」にも及んでいますが紙面の限界で割愛しました。ご了承ください。

### 編集後記

後援会だより第19号をお届けします。杉山議員の一般質問および市側の答弁内容を、市議会インターネット中継を巻き戻して編集しました。その分、文字が多くなりましたが、読み応えはあると思いますよ。ポイ捨てゴミに関しての議員と市側のやり取り、斜に構えて考えると、ポイ捨てゴミの多さとはもかく、その収集量を丹念に数えた役所の勤勉さに脱帽。念のため、犬の糞513個に私「虫」のものは絶対に入っておりませんので誤解の無いように「マナー指導員に「挨拶運動」にも参加」との教育的指導も、「マナーとは何ぞや」で考えさせられ、これが今の世相かと、背筋が妙にこそばゆい。ちなみに、杉山議員のその後の追跡では、現在は「マナー指導員の方から積極的に挨拶をかけてくる」とのことです。行政指導も厳しい。季節は厳冬でも、あと、数日もすれば二十四節気の立春。世相や背筋の寒さを吹き飛ばすように、春よ来い。早く来い。

(虫)

